

誇れる北中の実現 できる! だれでも! どこまでも!



今回は、体育大会に向けて生徒に負けず劣らず一生懸命に取り組んだ、この教師にスポットをあてます。

今大会では保護者・地域の皆様の盛大なご声援によって、子どもたちは成長の様子を見せました。その一方で、大きく成長した教師もいました。初めての体育主任、つまり、体育大会全体の計画・運営を担った 堀内 純 教諭です。教職三年目で本校が初任校になります。四月の初め、体育主任に任命しました。

体育主任は、学校全体の体育教育や体力向上、体育的行事を中心となって推進する役割を担います。中でも体育大会は本丸中の本丸の役割です。企画・運営、練習計画作成、練習会場確保・割当、用具管理、安全管理、職員役割分担作成、生徒会との連携、雨天時対応計画作成、全体練習指揮等々、様々な業務をこなさなければなりません。

もちろん一人ではできないこともあります。そこは職員同士の連携が大事です。職員は皆、堀内教諭が初めての体育主任だとわかっています。だから、何かフォローできないかと、それぞれが考えているようでした。彼女を信頼しているからこそあからさまなフォローはできません。それぞれがじっと見守り、そっと生徒に

指示を出して、全体指導を支えたりしていました。また、それぞれの団や学級を盛り上げるのが何よりのフォローになることもわかっていたでしょう。

放課後、堀内教諭にそつとようかんを渡す職員もいました。うれしそうでした。気持ちもうれしいし、ようかんも好きなのでしよう。私はその様子を温かく見守っていました。ちなみに私もようかんは大好きです。

大会後、大きな達成感と安堵、そして少なからぬ反省も堀内教諭は語りました。成果は子供の姿です。よくやったと思います。体育科の先輩・仲間からの助言や支えもたくさんあったでしょう。歴代の体育主任である梅北教諭や佐藤教諭による過去の積み上げの貴重さを感じることができました。

昨日の昼休み、七名の団長が私のもとに体育大会のお礼を言いにくれました。後ろに堀内教諭が立っていました。その様子に、大事なことは教師から教師、そして子どもへ伝わっていくんだなど、改めて感じました。

